



ロン D. バートン  
2013-14年度国際ロータリー会長



No.10

Takasago Rotary Club

週報

高砂

### クラブ会長方針

#### 【目 標】

- ・親睦を深め会員ご家族とのお付き合い
- ・ロータリークラブを今一度考えなおし、各委員会活動への理解を得る
- ・ロータリークラブの地域へのアピール

例 会 記 録 (2013. 9. 13 (金)) 通算2,957回

### 高砂青松RC・高砂RC合同例会

#### ◆開 会

#### ◆唱 歌 ロータリーソング (我等の生業)

#### ◆「四つのテスト」唱和

#### ◆ゲスト紹介

かみしばいA<sup>2</sup> 青木昭子様

#### ◆来訪ロータリアン (9/13)

姫路西RC 松尾京一会員

明石RC 成田良伸会員 西海正隆会員 河合宏昭会員 松岡睦生会員

藤本隆水会員 伊藤慎介会員 井上雅文会員

#### ◆歓迎歌「松の緑」

#### ◆プログラム予定

9月20日 (金)	9月27日 (金)	10月4日 (金)	10月11日 (金)
卓話 伊藤長次郎会員	卓話 「今時の子供たちを見て 思うこと」 青年の家所長 足立重之様	卓話 米山記念奨学会について 大村泰司会員	休 会 (定款第6条第1節(C)による)

## ◆出席報告

本日 9月13日 会員数48名 出席者24名 出席率64.86%  
前々回 8月30日 会員数48名 修正出席者40名 出席率100.00%  
8月度平均出席率100.00%

## ◆MAKE-UP

脇谷 政孝会員	高砂青松RC	9月11日 (9月13日)
覚野 成広会員	国際ロータリー	3月 2日 (9月13日)
河合 利昭会員	高砂青松RC	9月11日 (9月13日)
脇谷 政孝会員	国際ロータリー	3月 2日 (9月 6日)
福島 弥一会員	e-CLUB	9月12日 (9月13日)
新井 哲三会員	e-CLUB	9月 5日 (9月 6日)
桂田 重信会員	e-CLUB	9月 9日 (9月13日)
桂田 重信会員	e-CLUB	9月10日 (9月20日)

## ◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

高砂青松RC庄司 武会長……高砂クラブの皆様、本日はお世話になります。

高砂青松RC岩崎勇人幹事……よろしくお願ひします。

片嶋 純雄会長……本日は青少年奉仕委員会よろしくお願ひします。鹿島殿様お世話になります。

高木 史郎幹事……青木様、本日はよろしくお願ひします。

豊田 克義会員 (青少年奉仕委員長) ……青木昭子様、本日は宜しくお願ひ致します。  
紙芝居楽しみにしています。

## ◆幹事報告 (2,957回)

○国際ロータリー第2680地区ガバナー大室備様より、公式訪問のお礼状が届いています。

○ガバナー事務所より、第12回ロータリー全国囲碁大会のお知らせが届いています。

日時：2013年11月2日(土)

場所：東京 日本棋院会館

○国際ロータリー第2530地区より「会津の里にこらんしょ！」協力の依頼がきています。

### ※例会変更

加古川RC 10月 8日(火) → 職場例会 於：オークラ輸送機(株)本社工場  
10月15日(火) → 10月10日(木) 午後6時～

3クラブ合同例会 於：加古川プラザホテル

加古川平成RC 10月16日(水) → 10月10日(木) 午後6時～

3クラブ合同例会 於：加古川プラザホテル

10月30日(水) → 定款により休会

## ◆会長の時間

本日は高砂青松RCと高砂RC合同例会に御出席頂き有難うございます。猛暑、豪雨の今年の夏から、さすがに9月に入り半ばにもなりますと、涼しさを感じる朝夕に秋の気配を感じておられるかと思いますが、しかし昨日、一昨日と少し暑い夜を過ごされたかと思います。

去年は、この鹿島殿にて日本中を興奮させ、映画にもなりました小惑星「イトカワ」の資料を回収し、小惑星探査に成功した「はやぶさ」について、廣井孝弘先生にお話しを頂きましたが、先日は、国際宇宙ステーションに物資を運んでいた日本の無人補給機の「こうのとりのり」4号機が7日その任務を終えて大気圏に突入し燃えつきました。子供の頃から考えますと夢のようなお話しをお聞き致しました。

本日は、同じ夢のような話でも、紙芝居をお願いしております。

紙芝居といえば、私どもが子供の頃に、拍子木を打って、紙芝居屋のおじさんが、水あめか、酢昆布を5円で買い求め、紙芝居を見る街頭紙芝居か、幼稚園にての教育的紙芝居を見せて頂くのを楽しみにしていた頃が懐かしく思えます。

紙芝居のおじさんには、正義の味方、黄金バットまた悪人とは何かをしらしめられ、幼稚園では、この紙芝居を見る事にて、人の心の暖かさ、また優しさ、多くの方との接し方を教えて貰ったかと思います。紙芝居の内容より、その紙芝居に来られるおじさんの方をよく覚えており、未だにそのお顔は思い出されます。

確か平絵紙芝居は日本独自の物とお聞きしていたかと思います。バリ島へ旅行された方は、ご覧になったかと思いますが、バリ島のワヤン・クリのような影絵芝居も有ろうかと思えます。紙芝居はやはり何と言っても、1枚の絵を順に見せながら、その筋書きとまたセリフを一人で演じられ、その声色、セリフ回し、また次の絵への画面の展開による絵の引き方と、演じる方の腕が試される面が有ろうかと思えます。夢中に見いった事が懐かしく思いますが、やがてテレビまた映画のスターの登場そして漫画にその活躍の場が奪われていったかと思えます。

いまや日本のアニメは世界でも大変有名になって参りましたが、紙芝居は、手作り紙芝居に代わってきたかと思っております。

今日は、どのような形にて御披露して頂けるのか楽しみに致しております。



片嶋純雄会長

## ◆本日のプログラム

講師：かみしばいA<sup>2</sup> 青木昭子様

演目：「青の洞門」「どこへいくのかな」「てんからおだんご」



### 青木昭子様 プロフィール

現在、神戸市在住

昭和58年、神奈川県相模原市に在住の時、紙芝居と出会い、実演活動を行う。

神戸市中央図書館にて、月1回、勉強会と実演

西図書館にて、隔月 実演

神戸市美賀多台児童館にて月1回、実演

ろっこう医療生協の紙芝居サークルで、実演指導

### 作品解説

『どこへいくのかな』 脚本・堀尾青史 画・久保雅勇

物語：うさちゃんが、いっしょうけんめい駆けていく、パン屋さんもジュース屋さんも、知らんぷりして通り過ぎ、ころんでも泣かないで起き上がって…  
そうしてうさちゃんがやって来たところは…

みどころ：絵は動かないのに、うさちゃんが本当に、駆けているような緊迫感が伝わってくる絵の連続。紙芝居を知り尽くした『堀尾青史』ならではの、幼児向けの秀作。

『てんから おだんご』 脚本・堀尾青史 画・金沢佑光

物語：おばあさんが庭でウトウトしていると、天からお団子がおりてきて、おばあさんが食べ終わって目をさますと、空っぽのお皿はまた天にのぼったのか、なくなっていました。

みどころ：単純な円と棒だけでつくられた画面。ドラマチックなものが多い紙芝居の中では珍しい、終始ゆったりとした幻想的で情緒的な作品。

『青の洞門－禅海－』 脚本・堀尾青史 画・小野野半二

物語 語：主人を殺した市九郎が、出家して禅海と名乗り、九州の耶馬溪までやってきて30年もかかって洞門を掘り抜いた話。

みどころ：菊地寛が『恩讐の彼方に』でこの話を書いているが、「紙芝居は絵もストーリーもシンプル、シンプル」と言っていた堀尾らしく、この長い物語が、わずか16枚の中にみごとにおさまっている。

### ◎謝 辞



### ◎講師へのお礼



会長 片嶋 純雄 幹事 高木 史郎  
例会日時 毎週金曜日12時30分より  
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 後藤 純次  
例会場 高砂商工会議所2階会議室  
[http://www.winwin.ne.jp/~takasago\\_rc/](http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/)